

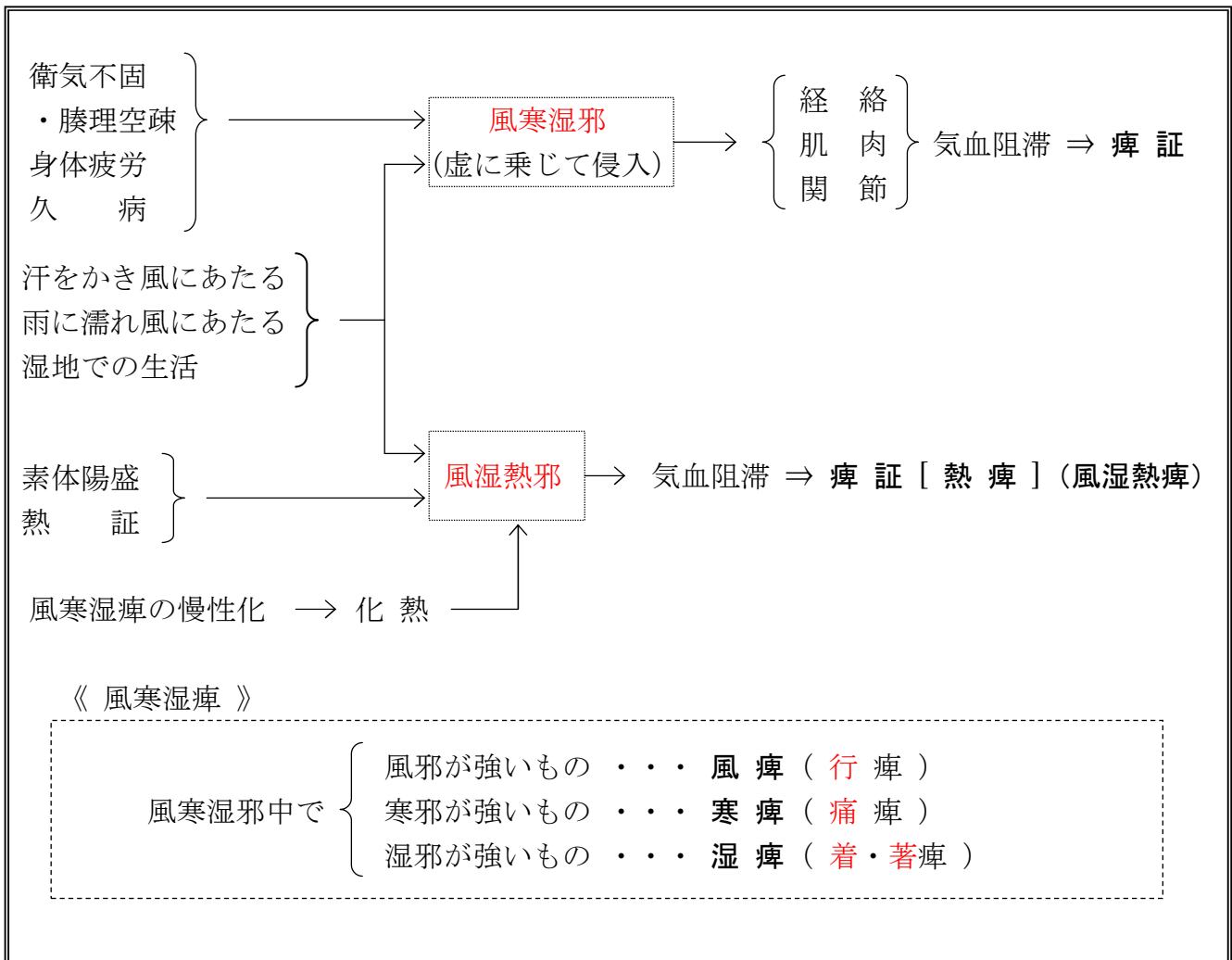
第16講 『 痺 証 』

：教科書に紹介されている“頸肩腕痛”“肩関節痛”“上肢痛”“腰下肢痛”“膝痛”の多くは「痺証」に属している。 例：上肢に現れた痺証 → 上肢痛

* 「 痺 」：閉阻して通らない。

『 痺 証 』 { [広 義]：邪気が肢体、経絡、臓腑に滞ることにより起こる多種の疾病。
[狭 義]：外邪（主に 風寒湿 邪或いは熱邪）が肢体の経絡・筋肉・関節に侵入し気血の運行不暢が起こると、疼痛・重だるさ・麻痺が起こり、また関節の腫脹・変形・屈伸不利等の症状を伴うこともある。

【 病因病機 】



【 六淫の特徴 】

- 風 邪 : [遊 走]性 (病変部位が定まらず動き易い)
- 寒 邪 : [凝 滯]性 (気血津液等を凝滯させ、痛みを発生させる)
[収 引]性 (気や組織を収縮させる→関節屈伸がなめらかで無くなる)
- 湿 邪 : [重 濁]性 (重だるさを引き起こし易い)
[粘 帯]性 (治癒しにくく病程が長い。再発しやすい)
- 熱 邪 : 炎熱性

【 弁証の要点 】

- [行] 痺 : 肢体関節の疼痛部位が遊走性で定まらない。
- [痛] 痺 : 筋肉関節に激しい疼痛。疼痛部位に冷感を伴い(冷痛)温めると緩和する。
- [着] 痺 : 肢体関節に重だるい痛み、皮膚に軽い浮腫がみられる。
- [熱] 痺 : 紅・腫・熱・痛

【 治 療 】

- * 治 法 : 主として近位及び循経取穴を行い、阿是穴を補助として用いる。
- 病が皮膚・筋肉にあるときには浅刺を施すとよい。或いは皮膚鍼で叩打する。
 - 病が筋骨にあれば深刺し置鍼する。
 - 病が血脈にあれば放血してもよい。

《 近位選穴例 》 (順経取穴も含む)

痺証部位	経穴名	経 絡	取 穴 部 位
肩 部	肩 髃	三焦経	肩峰外端の後下際
	肩 髃	大腸経	肩関節前方、肩峰と上腕骨頭の間
	臑 兪	小腸経	腋窩横紋後端の上方、肩甲棘外端の下際陥凹部
肘 臂	曲 池	大腸経	肘を屈曲してできる肘窩横紋の外方で、上腕骨外側上顆の前
	合 谷	大腸経	第1・2中手骨底間の下、陥凹部、第2中手骨より取る
	天 井	三焦経	肘頭から肩髃穴に向かい上1寸
	外 関	三焦経	陽池穴の上2寸、総指伸筋腱と小指伸筋腱の間を取る
	尺 沢	肺 経	肘窩横紋上にあり、上腕二頭筋腱の機側を取る。
腕 部	陽 池	三焦経	手関節後面横紋の上1寸
	外 関	三焦経	陽池穴の上2寸、総指伸筋腱と小指伸筋腱の間を取る
	陽 谿	大腸経	手関節で長・短母指伸筋腱の間、陥凹部
	腕 骨	小腸経	手背にあり、第5中手骨底と三角骨の間、陥凹部
背 脊	水 溝	督 脈	鼻中隔の直下、人中の中央
	身 柱	督 脈	第3・4胸椎棘突起間
	腰陽関	督 脈	第4・5腰椎棘突起間

臀 部	環 跳	胆 経	股関節横紋の外端、大転子の前上方、陥凹部
	居 髎	胆 経	維道穴から環跳穴に向かい下3寸
	懸 鐘	胆 経	外果から陽陵泉穴に向かい上3寸
	秩 辺	膀胱経	正中仙骨稜第3仙椎棘突起部の下外方3寸
	承 扶	膀胱経	殿溝の中央
	陰陵泉	脾 経	脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際陥凹部
膝 部	犢 鼻	胃 経	膝蓋骨下縁と脛骨上端との中間で膝蓋靭帯中
	梁 丘	胃 経	膝蓋骨外上角から髌関穴に向かい上2寸
	陽陵泉	胆 経	腓骨頭前下際、陥凹部
	足陽関	胆 経	大腿骨外側上顆の上際で、腸脛靭帯と大腿二頭筋腱の間
足 部	申 脈	膀胱経	外果の直下5分
	照 海	腎 経	内果の直下1寸に取る
	崑 崙	膀胱経	アキレス腱と外果の間、陥凹部
	丘 墟	胆 経	外果の前下方、陥凹部

【 症状と処方例 】

1. 行 痺（風 痺）

[症 状] 四肢の関節の遊走性の疼痛、関節の屈伸不利。悪寒発熱を伴うこともある。

脈浮弦。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
膈 俞	膀胱経	活血調血	第7・8胸椎棘突起間の外1寸5分
血 海	脾 経		膝蓋骨内上角の上2寸

“治風先治血、血行風自滅”

2. 痛 痺（寒 痺）

[症 状] 筋肉・関節が冷えて痛む、固定性で寒冷により増強、温めると軽減。寒がり、四

肢の冷え。脈弦緊。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
腎 俞	膀胱経	温補陽気	第2・3腰椎棘突起間の外1寸5分
関 元	任 脈	祛寒外出	前正中線上で臍下3寸

腎俞、関元は灸法或いは灸頭鍼を用いる

3. 着 痺 (湿 痺)

[症 状] 筋肉・関節の重だるさ、疼痛は固定性、悪天候により増強。患肢に軽度の浮腫や

麻痺感を伴うこともある。舌苔白膩、脈濡。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
陰陵泉	脾 経	健脾除湿	脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際陥凹部
足三里	胃 経		膝を立て、外膝眼穴の下3寸に取る

4. 熱 痺

[症状] 四肢の関節の疼痛、局所の発赤、腫脹、発熱、冷やすと軽減する。咽頭痛、発熱、

口渇、多汗、煩躁、小便は黄色で少量。舌苔黄膩、脈(濡)数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
近位選穴	***	****	* * * * * * * * * *
大 椎	督 脈	清瀉熱毒	第7頸椎・第1胸椎棘突起間
曲 池	大腸経		肘を屈曲してできる肘窩横紋の外方で、上腕骨外側上顆の前

大椎、曲池には点刺放血も可